

九州・沖縄地方成長産業戦略 ～九州・沖縄 Earth 戦略～ 概要

資料11-2

主旨

- ◆日本再興戦略及びそれを踏まえた全国知事会の緊急決議を契機に設置。
- ◆九州地方知事会、政令市、民間企業経営者を中心に、国の地方支分部局が一体となって協議会を構成。
- ◆九州経済を牽引していく成長産業を特定し、九州・山口・沖縄地域が強固に連携・協働して戦略の実現を図っていく。

オール九州、産学官金一体で進める取組

九州の現状

- ◇人口減少により内需は減少傾向 ⇒ アジア等外需の取り込みが経済発展のポイント
- ◇地域活力の維持・発展には、交流人口の増加（インバウンドの拡大）が必要
- ◇九州経済を牽引してきた電気電子産業の工場再編
- ◇自動車及び自動車関連産業における海外生産の増加 ⇒ 新たな成長産業が必要

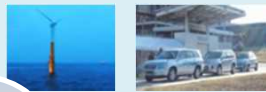
◆九州の強みを活かした4つの分野で先導的な取組を実施する。

豊かな自然を活かしてグローバル（地球規模）な視点で課題に挑戦する九州の成長戦略。 4つの戦略分野が連携し、アジアのゲートウェイとして持続的な発展を目指す。

- ①北部九州は水素の一大研究拠点
→水素先導地域へ
- ②FCVの2015年の市場投入
→九州が連携した取組へ
- ③北部九州の自動車産業
→次世代自動車産業の拠点としての競争力強化
- ④豊富な自然エネルギーの存在
分散型エネルギー：地熱
拠点型エネルギー：洋上風力
→ 関連産業の拠点化へ
- ⑤高効率火力発電技術の蓄積
- ⑥スマートコミュニティ実証実験を活かした新たな先導的モデルの実施
- ⑦九州で培った環境、省エネ技術等の海外展開

- ①日本の食料基地～全国2割の農業産出額
- ②アジアへの近接性
- ③恵まれた自然条件を活かした安心安全な食づくり
- ④先行している経済団体の取組（九州農業成長産業化連携協議会）

クリーン分野 Energy & Environment
クリーンで経済的なエネルギーの供給拠点化
水素/地熱/洋上風力/海洋エネルギー/高効率火力
次世代自動車の生産・開発拠点化
省エネルギー先導拠点の形成
アジアにおける環境・エネルギー関連産業の先導



スマート農業

農林水産業・食品分野 Agriculture
海外市場への展開促進
国内外の販路開拓・最適生産体制構築
九州ブランドの創設
物流・輸送システムの強化
事業規模の拡大・安定供給体制の構築
農村発の再生可能エネルギーの活用
農山漁村の振興



食と観光
グリーンツーリズム

医療・ヘルスケア・コスメ分野 Health
健康長寿を目指した予防医療・健康増進サービスの産業創出
医療機器分野への参入促進・海外展開
先進医療・治療分野における新産業の創出
機能性・健康食品関連産業の活性化
化粧品関連産業の振興



ヘルスケアツーリズム

観光分野 Tourism
第二期九州観光戦略の確実な実施
・九州ブランドイメージ
・観光インフラ整備
・九州への来訪促進
・来訪者の滞在・消費促進
クールジャパンと連動した観光振興



- ①医療介護の需要のピークが全国に先駆けて到来
- ②半導体、ロボット産業の集積による技術の蓄積
- ③血液・血管に関する治療技術の蓄積、内視鏡手術の先進地等
→手術ロボット等現場ニーズに基づいた関連医療機器の開発
- ④機能性食品・化粧品に利用しうる豊富な地域資源やフランスのクラスターとの連携

- ①アジアとの近接性
- ②7県が連携した取組（九州観光推進機構）
- ③九州アジア観光アイランド総合特区の指定
- ④観光資源が豊富（豊かな自然、温泉、離島、産業観光等）
- ⑤国際会議の開催が東京に次いで2位（福岡）

■横断的取組

国際化

- ◆グローバル人材の活用（留学生の活用など）
- ◆中小企業等の国際展開推進
- ◆対日直接投資の活性化

ものづくり基盤

- ◆蓄積されたものづくり技術の活用

産業人材

- ◆女性の活躍促進

ICT/IoT

- ◆海外への情報発信の促進
- ◆ビッグデータ利活用の促進
- ◆IoT利活用の促進

インフラ整備

- ◆九州高速道路網の早期整備
- ◆福岡空港滑走路増設などの早期整備
- ◆港湾の機能強化

創業・ベンチャー

- ◆世界で活躍できるベンチャー企業の創出

九州一体となった ビジネス交流・情報発信の促進

- ◆大規模国際スポーツ大会を契機としたビジネス創出

九州～沖縄連携

- ◆おきなわクリニカルシミュレーションセンターの活用
- ◆那覇空港国際物流ハブ機能を活用したセントラルキッチン
- ◆国際クルーズ船の共同誘致
- ◆アジアグローバル人材育成

※朱書き（太字）部分は、あくまで改訂項目の例示であり今後議論するもの。